

平成28年の建設工事等におけるガス管損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/16	福岡	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者からエンボで掘削中にガス管を損傷したとの連絡を受け出勤したところ、ガス管(本支管:ポリエチレン管)が損傷しガスが噴出していた。当該箇所は、地下水により水没していて処置できない状態のため全戸(127戸)のガス供給を停止した。停止後、地下水を除去して損傷箇所をベトロラムテープで応急処置し、ガス供給を再開した。その後、当該箇所のガス管がループ管であったため、ガスの供給を止めずに損傷部分の取替工事を行った。
1/16	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者よりガス管らしきものを損傷したとの通報があり出勤したところ、灯外内管が損傷していた。
1/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が灯外内管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。破損箇所上流側で切断、プラグ止め。なお、他工事業者から事前連絡があったが、事前着工したものの。
1/19	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によるものと考えられる。
1/22	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者からガス管を損傷したとの連絡を受け、訪問したところ、灯内内管から漏えいし、床下の根太及び電気ケーブルが焦げていた。工事業者によると、原因は他工事(改装工事)で、ガス管と思わず切断したところ漏れたガスに着火したため、消火したとのこと。
1/22	静岡	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体業者より「建物解体中にガス配管を損傷させガスが漏えいした」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、当該宅地内の埋設供給管よりガスが漏えいしていることを確認した。原因は、当該業者が解体作業中、当該供給管の存在を認識しなかったため誤って重機を接触させ損傷させたもの。 なお、販売事業者によると、当該業者には、工事前にガス配管図面を渡し説明を行っていたとのこと。
1/23	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(舗装工事業者)がカッターで供給管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
1/25	岐阜	解体工事	都市ガス	0	更地(建物解体工事が施された箇所)に埋設されている灯外内管よりガスが漏えいし、警察・消防にて周辺道路の交通規制を公共交通機関の運行支障を招いたもの。 当該箇所に何らかの車両等が入り、埋設(土被5cm)されている灯外内管の上ののつたため、埋設接合部が折損したものと推測。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/31	京都	水道工事	LPガス	0	水道工業者が道路掘削作業中、集団供給(20戸)の埋設供給管(ジュート巻き白管32A)に重機を接触させ、当該供給管よりガスが漏えいした。水道工業者はタオルとビニールテープを巻き付ける応急措置を施し、販売業者に連絡をした。連絡を受けた販売業者は現場に出動し、破損箇所から下流の供給先(3戸)に対して仮設容器による供給を行うため、個別仮設供給設備工事を実施した。また、水道工業者による水道管の補修工事完了後に、バイパス工事により設置した埋設供給管を本管に接続し、仮設供給設備の撤去を実施した。原因は、当該水道工業者が掘削作業を実施する際に埋設供給管の存在を把握していたが、作業員の不注意により損傷させたもの。
2/1	滋賀	改修工事	都市ガス	0	顧客がツルハシで灯外内管を破損。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/1	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工業者(解体工業者)がニブラで灯外内管を破損。引き込み管遮断バルブ閉止したため供給支障(62戸)。
2/2	京都	解体工事	LPガス	0	集合供給の開栓先(戸建)の宅地内において、解体事業者が、家屋の解体工事を行っていたところ、コンクリートの塀を倒しガス管(供給管)の立ち上がり部を下敷きにし、ガス管が折損しガスが漏えい、折損部から50cm程度の火が上がった。原因は、解体事業者がコンクリート塀の解体中、誤ってガス管の立ち上がり部分を折損させ、ガスが漏えいしたが、漏えいに気付かず、電動切断機でコンクリート塀を分断したため、当該切断機の火花が漏えいしたガスに引火したものの。
2/3	山口	解体工事	LPガス	0	集合供給の団地において、下水工業者が道路掘削中、パワーショベルで誤ってガス管(PE20A)を損傷させ、ガスが漏えいした。原因は、下水工業者が、岩盤を取り除く際に、ガス管(PE20A)が見えていたにも関わらず、手掘りをせずパワーショベルを使用し、操作ミスによりガス管を損傷させ、ガスが継続して漏えいした。なお、販売業者は、当該工事中に立ち会っていたものの、手掘りの指示は行っていなかったとのこと。
2/3	京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工業者(内装工業者)がカッターで灯内内管を破損し、ガスに着火・炎上(消防により消火。火災認定あり)。ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/5	京都	下水工事	都市ガス	0	他工業者(下水工業者)がカッターで供給管を破損し、ガス漏えいしたため、消防により周辺道路の交通規制及び付近住民(1名)の避難を実施した。破損箇所修理完了。他工業者から事前照会があり、現地立会していたが、官民境界付近の部分的な浅埋ガス管(0.3m)を破損したものの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
2/8	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。外面修理テープ巻き措置済み。
2/18	京都	解体工事	都市ガス	0	他工事工事業者(解体工事業者)がバックホウで灯外内管(継ぎ手部)の破損し、ガス漏えいのため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
2/20	群馬	解体工事	LPガス	0	戸建て住宅へ集団供給(全30戸)している地区において、解体工事業者が建物解体工事中に重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、誤って埋設配管に重機を接触させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。 なお、埋設管表記の札が劣化しており、埋設配管の位置が不明瞭であった。
3/3	滋賀	水道工事	LPガス	0	空き地において、水道管工事業者よりガスを漏えいさせたとの連絡を受け、販売事業者が出動したところ、容器庫からの埋設供給管の引込み管(ポリエチレン管25A)よりガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、水道管工事業者が、工事の掘削中において、重機を誤って当該引込み管を損傷させたため、ガスが漏えいしたものの。 なお、本工事の実施に際し、事前に水道管工事業者と販売事業者は、工事内容の協議及び埋設配管の試掘を実施していた。 又、当該水道管工事業者は以前(平成27年4月29日)にも、同様の事故を起こしており、販売事業者も今回の事故と同じ事業者であった。
3/5	東京	改装工事	LPガス	0	共同住宅において、土木工事業者より「コンクリート内に埋まっていたガス管(白管)に穴をあけてしまった」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、パイプシャフト内埋設配管が損傷しガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、土木工事業者が当該住宅内のはつり工事中に、誤って機器などで埋設配管に穴をあけたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。
3/5	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。引込み管ガス遮断装置閉止により供給支障が発生。工事業者によると原因は他工事(改装工事)によると考えられる。
3/7	宮城	水道工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より「ガスの使用が出来ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、バルク供給設備の安全装置が作動しガスの供給が停止していることを確認した。 原因は、埋設管水道工事をしていた水道工事業者より供給管の撤去依頼を受けた都市ガス事業者が、誤って当該埋設供給管の縁切・撤去工事を行ったもの。
3/18	兵庫	建物改修・改装工事	都市ガス	0	他工事業者(改装工事業者)が灯外内管を破損し、ガス漏えいしたため、警察により周辺道路の交通規制を実施した。また、引き込み管遮断バルブ閉止したため供給支障が発生した。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
3/25	京都	電気工事	都市ガス	1	他工事業者(電気工事業者)が電子センサーで灯内内管を破損し、着火(火災)。他工事業者1名が軽度の火傷。
3/26	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホウで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、消防により周辺道路の交通規制を実施した。
3/26	東京	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がコア抜きをしたところ灯外内管を破損し、ガス漏えい。引き込み管ガス遮断装置を閉止したことにより53戸供給支障。
3/28	北海道	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が建物解体作業中に一時閉止していた灯外内管を損傷し、ガスが漏えいした。当該漏えい箇所のカップ止めを行い、周辺調査で異常がないことを確認した。その間、交通規制がされたもの。
3/31	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると思われる。
4/1	栃木	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、本支管が損傷していたため、特定製造所において供給を停止した。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると思われる。
4/6	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると思われる。
4/6	栃木	下水工事	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出勤したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)によると思われる。
4/7	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(地盤改良工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(44名)の避難が実施された。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
4/8	埼玉	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防署から工事業者がガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(改築工事)によると考えられる。
4/11	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
4/13	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)による不使用灯外内管引張りによる供給管損傷と考えられる。
4/18	岡山	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、下水工事業者が、敷地内のコンクリート部を掘削中に、使用していたハツリ機により、埋設管(PE管25A)を損傷させガスが漏えいした。原因は、当該工事業者が敷地内の埋設管を認識していなかったことにより、誤って損傷させたもの。なお、当該建物管理会社から工事に係る連絡はなかった。(バルク貯槽298kg×1基)
4/18	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(地盤改良工事業者)が地盤調査に伴うボーリングで不使用灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(13名)の避難が実施された。
4/19	長崎	下水工事	都市ガス	1	工事業者が住宅敷地(オール電化)内で下水工事中にコンクリートカッターでPE管(灯外内管のキャップ)を損傷し、ガスが噴出し、着火して工事作業員1名が右手の甲に火傷(軽傷)を負った。
5/2	兵庫	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がハンマードリルで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/7	福島	解体工事	LPガス	0	集中監視センターより遮断の連絡あり、販売事業者が出動したところ、母屋解体中の大工が誤ってメーター上流側の供給管を損傷させ、ガスが漏えいしたことを確認した。
5/9	福岡	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、消費者より「ガスが出ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、配管埋設部からガスが漏えいしていることを確認した。原因は、当該配管付近にサンダーの使用及びコンクリート埋戻しの形跡が確認されたことから、水道工事業者が、工事を行った際、誤って当該配管を損傷させたものと推定される。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
5/11	静岡	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工業者が水道メーター交換作業中に、ガスが漏えいした。 原因は、水道工業者が当該埋設管を認識していなかったことにより、誤ってカッターで埋設供給管を損傷させたもの。 なお、販売事業者によると、水道工業者から工事前の確認はなかったとのこと。
5/13	東京	基礎工事	都市ガス	0	工業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられ、供給支障が発生した。
5/21	京都	水道工事	都市ガス	0	他工業者(水道工業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/25	京都	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工業者(道路復旧業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/26	東京	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工業者より「埋設ガス管を傷つけてしまった」との連絡を受け、販売事業者がバルブの閉栓を依頼し、現場へ出動し、ガス管を修理した。 原因は、水道工業者が下水工事中に誤って埋設供給管を損傷させたもの。
5/27	東京	その他改修工事	都市ガス	0	汚水樹工事会社から、敷地内で汚水樹の工事中にガス臭くなったとの通報受付。事業者到着時ガス臭気有。安全確保のため引き込み管ガス遮断装置を閉止。60戸の供給支障が発生した。
5/30	新潟	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工業者が、集団供給設備に隣接する家屋の解体作業中に、埋設供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。 原因は、当該集団供給設備を停止し個別供給とする際、当該家屋の敷地内の埋設部で切り離したため、埋設供給管が残っていたが、解体工業者は認識しておらず、誤って重機等で当該供給管を損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。
5/31	愛知	下水工事	都市ガス	0	敷地内の下水工事中、他工業者が塗装の切断工事の際に、灯外内管を誤って切断。漏えいしたガスに着火し、小屋内の壁を損傷したものの。
6/1	山形	電柱設置工事	都市ガス	1	他工業者(電気設備)が電柱設置工事中に供給管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。加えて、復旧工事中、ガスに引火し、作業員1名が軽傷(火傷)を負ったもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
6/2	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が油圧クラッシャーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/6	京都	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/6	兵庫	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がコンクリートブレーカーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、供給支障が発生した(48戸)。
6/8	福岡	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者によりガス管損傷の連絡を受けガス事業者が出動。 電柱工事によるガス支管(口径50mm)の損傷により、39戸が供給支障となった。
6/15	千葉	電柱設置工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。
6/21	京都	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、住民より「ガスが使えない」との連絡を受け、販売事業者が出動したところ、ガス臭がありガスの漏えいを確認した。 原因は、解体工事業者が、当該住宅に隣接する家屋の解体工事の際、誤って重機を埋設配管(解体敷地内(小規模導管供給の閉栓先の区画)の立ち上がり管(被覆鋼管)の部分)に接触し損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。 なお、確認したのが夜間であったため埋設配管の損傷状況が確認出来なかったことから、供給先10戸を停止し、各戸に20kg容器を設置、仮設供給を開始し、仮設供給は、当該供給管の復旧作業を完了した時点で、すべて撤去した。
6/27	静岡	水道工事	都市ガス	0	1棟30戸の集合住宅で工事を受注した水道工事業者が委託したカッター業者がガス管(灯外内管)を損傷。連絡を受け駆けつけたガス事業者により当該集合住宅へ供給されるガス管の遮断バルブを閉止し、各戸のメーターガス栓も閉止。 カッター業者がガス管を把握していたかは調査中。
7/5	山口	下水工事	都市ガス	0	団地住宅内駐車場において、下水工事を行っていたところ、コンクリート土間にコンクリートカッターを入れ、続いてピック(駆動式はつり機)を作動させたところ、縦方向に切断された灯外内管から漏洩したガスに着火。消防からの指示により、特定ガス製造所元弁を保安閉栓。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が掘削機で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺住民(2名)の避難が実施された(40分間)。プラグ止め完了。
7/19	埼玉	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、下水工事業者が、敷地内の下水工事の際、埋設配管よりガスが漏えいした。原因は、当該工事業者が、下水工事のためカッターでコンクリートを切断する際、埋設物の存在を確認せず、誤って3本の埋設配管をカッターで切断したものの。
7/19	大分	解体工事	都市ガス	1	他工事(解体工事)事業者が建物解体現場の敷地内駐車場の整備中にガス供給管(50A)を廃止管と誤認して折損し引き抜いた後、電動ピックにてコンクリートのはつり作業中に漏えいしたガスに着火し作業員が火傷した。(負傷者1名軽度の火傷、火災認定なし)
7/20	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が解体用つかみ機で灯外内管を破損し、漏えいしたガスに着火(負傷者なし)。周辺道路の交通規制が実施された。
7/21	神奈川	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると思われる。
7/21	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が掘削機で支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/29	東京	解体工事	都市ガス	0	八王子警察からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると思われる。
7/25	鳥取	供給設備工事	LPガス	0	共同住宅において、販売事業者がガス供給変更作業の下見のために当該宅の供給設備を確認したところ、当該事業者の計画と異なり、供給設備工事業者が中間バルブを閉止し新たな配管を接続していたことから、当該工事の際に、ガスの供給停止することなく作業を行い、供給管継手部よりガスが漏えいし事故が発生したものと推定した。 なお、新たな販売事業者は、当該宅のオーナーには先行工事の了承を得ていたが、これまで供給していた販売事業者への連絡は行っておらず、当該工事の立会いも行っていなかった。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/2	福島	建設工事	LPガス	0	分譲造成地において、所有者より「埋設ガス管を破損させた」との連絡があり、販売事業者が調査したところ、埋設供給管よりガスが漏えいしていたことを確認した。 なお、販売事業者の到着時は、建設業者により応急処置が施されガスの漏えいは止まっていた。 原因は、当該建設工事業者が、外溝の整地工事中に埋設管末端の取出し継手部の存在を確認しなかったため、重機で誤って破損させガスが漏えいしたものの。
8/3	東京	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると思われる。
8/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	小学校敷地内において他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、同校内の18名(児童11名・保護者7名)の避難が実施された。
8/9	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/9	京都	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がアイオン(破碎重機)で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/10	京都	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民・店舗従業員及び顧客(約100名)の避難が実施された。
8/10	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、未使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると思われる。
8/15	神奈川	屋外付帯工事	LPガス	0	学校において、他工事業者が屋外付帯工事を行った際、メーター下流の埋設供給管からガスが漏えいした。 原因は、他工事業者が、誤って当該埋設管にユンボを接触させたため、ガスが漏えいしたものの。 なお、販売事業者によると、当該工事業者の責任者に対し、工事前に埋設管の存在を説明したが、現場の作業員には連絡が届いていなかった可能性があるとのこと。
8/16	静岡	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、外溝工事業者より「ガス配管を損傷させてしまった」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管からガスが漏えいしていることを確認した。原因は、当該工事業者が、工事中に誤って埋設供給管を損傷させたためガスが漏えいしたものの。 なお、販売事業者によると、当該工事業者及び消費者から工事の連絡は無かったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/17	埼玉	下水工事	都市ガス	0	工事業者(下水工事)がガスを損傷し供給支障が発生した。 なお、当工事には事業者が立ち会っていた。
8/21	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	消防からガスを損傷したとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。工事業者)によると原因は他工事(改修工事)による考えられる。
8/24	福岡	増築工事	LPガス	0	病院において、建設工事業者が、増築工事のため掘削作業を行っていたところ、ガスが漏えいした。 原因は、当該建設工事業者が、埋設配管の存在を認識していなかったため、誤って重機で当該配管に接触し損傷させたため、損傷部よりガスが漏えいしたものの。
8/24	茨城	下水工事	LPガス	0	団地において、下水工事業者が掘削中、埋設供給管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、重機を誤って操作し、団地に供給する集団供給設備の供給管を損傷させたため、ガスが漏えいしたものの。 なお、販売事業者と当該工事業者との事前の打ち合わせでは、供給管の周囲は手掘りで掘削することとしていたが、重機により掘削が行われたもの。
8/24	佐賀	解体工事	都市ガス	0	建物解体作業中に、解体業者が灯外内管(不明管)を折損。解体作業員はガス臭に気づいていたが、解体作業(鉄骨のガス溶断)を続けたため、滞留したガスに引火し、火災により交通規制を実施した。
8/25	神奈川	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者より「ガスが出ない」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、埋設供給管よりガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、解体工事業者が整地した際、使用期間が40年程経過しており老朽化していた当該供給管に負荷がかかり、ガスが漏えいしたものと推定される。 なお、販売事業者によると、当該供給管は毎月の漏えい検査にてこれまでに漏えいは確認されていなかったとのこと。
8/25	大阪	外構・門扉工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がディスクグラインダーで灯外内管を破損し、ガスが漏えい着火したため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/26	茨城	解体工事	LPガス	0	団地の宅地内において、解体工事業者がコンクリート打設された階段を解体していたところ、階段下の埋設供給管よりガスが漏えいした。 原因は、当該工事業者が、階段下の当該供給管の存在を認識しておらず、重機を接触させたため、当該供給管が損傷しガスが漏えいしたものの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/27	千葉	その他改修工事	都市ガス	0	消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(需要家による改装工事)によると考えられる。
8/30	神奈川	造成工事	LPガス	0	一般住宅において、造成工事業者より「重機でガス管を引っ掛けた」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、破損の確認ができなかったが、埋設管の一部が曲がり、動くことから損傷の可能性があることを確認した。 なお、販売事業者によると、当該消費者に工事の際には事前に連絡するように周知していたが、隣地での造成工事であったため、事前連絡は無く、工事の立会いが出来なかったとのこと。
9/7	京都	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/12	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。
9/15	三重	解体工事	LPガス	0	空き店舗において、解体業者が供給管をサンダーで切断したため、ガスが漏えいし引火した。原因は、当該設備はメーターガス栓が閉められ、ガス止めが行われていたが、当該業者が誤って供給管をサンダーで切断したため、ガスが漏えいし、サンダーの火花が引火したものの。
9/16	大阪	樹木植樹・伐採工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。支管にて切断プラグ止め完了。
9/17	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制(1時間26分)及び周辺住民(4名)の避難が実施された。
9/23	奈良	電話工事	都市ガス	0	他工事業者(電話工事業者)がバールで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/23	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9/28	東京	解体工事	都市ガス	0	建設会社から解体中ガス臭気有、着火したとの通報があり出動。現地到着時先方にて消火済み。ガス臭気が残っていたため、交通規制を実施。火災認定なし。
10/4	東京	改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)によると思われる。
10/4	埼玉	解体工事	都市ガス	0	消防署からガス臭いとの通報があり出動したところ、建物解体現場で灯外内管が破損されていた。警察、消防により交通規制を実施。
10/5	埼玉	水道工事	LPガス	0	水道工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動。PE管をスクイズオフ、供給支障が発生した。
10/5	神奈川	水道工事	都市ガス	0	事業者点検士より、水道工事時供給管損傷との通報があり出動。消防にて交通規制を実施。
10/6	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると思われる。
10/6	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動し、灯外内管が損傷していることを確認した。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると思われる。
10/21	岡山	下水工事	LPガス	0	下水工事業者が団地内の市道を掘削中に、埋設供給管(ポリエチレン被覆管)を損傷させガスが漏えいした。原因は、当該下水工事業者が現場の図面の細部まで確認していなかったため、誤って重機を当該供給管に接触させ、ガスが漏えいしたもの。なお、販売事業者によると、当該工事業者からの事前連絡及び相談は無かったとのこと。また、当該工事業者と販売事業者の図面に違いがあったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
10/7	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで灯外内管(鋼管)を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制(2時間26分)および避難(約30世帯)が実施された。
10/8	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者及び消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。
10/13	東京	漏水工事	都市ガス	0	工事業者から漏水工事中にガス管を切断し着火したとの通報があり出動。通報者にてメーターガス栓閉止済みを確認。水道漏水修理中誤って灯内内管を損傷し着火後すぐに消えたとのこと。
10/15	東京	解体工事	都市ガス	0	近隣住民からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管を損傷していた。原因は他工事(解体工事)によるもの。
10/17	東京	解体工事	都市ガス	0	マイコンメータ作動で訪問した協力企業から供給支障との通報があり出動したところ、支管への水流入により供給支障が発生していた。原因は不使用灯外内管折損箇所からの差し水であった。折損原因は他工事(解体工事)。
11/2	佐賀	下水工事	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者(排水工事業者)より「埋設供給管からガスが漏えいした」との連絡を受けた販売業者が、漏えいを止めるための応急処置を指示し出動したところ、埋設供給管が損傷していた。原因は、当該工事業者が、重機により埋設供給管を誤って損傷させたため、ガスが漏えいしたものの。
10/18	埼玉	改装工事	都市ガス	1	需要家より、敷地内工事中にガス管を損傷しガス臭いとの連絡を受け、訪問したところ、設備工事作業員が、灯外内管を損傷し漏えい着火により負傷し、病院に搬送されていた。原因は他工事(改装工事)に際し、給湯配管ろう付け作業中パーナーにて灯外内管を損傷したものの。
10/22	福岡	解体工事	都市ガス	0	一般住宅の建物解体作業中に、解体業者が灯外内管(メーター立管)をサンダーにて損傷し、漏えいしたガスに着火。
10/24	京都	設備工事	都市ガス	0	他工事業者(設備工事業者)がコアドリルで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、供給支障が発生した。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
10/27	岐阜	改装工事	都市ガス	0	消防よりリフォーム業者が建物内改装工事中ガス管を損傷。」との通報を受け緊急出動。現地調査結果、エアブローカーによる灯外内管(40mm、白ガス管)の破損を確認。消防、警察にて通行規制(100m)、避難誘導(当該建物住民1名)を実施。公共交通である路線バスの運行支障が発生。
10/28	神奈川	整地工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
10/28	埼玉	水道工事	都市ガス	0	消防車の動きに走行中のガス事業者社員が気づき対象団地に到着したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。漏れ箇所をスクイズしようとしたが圧力が高く困難だったため、元バルブ閉止により供給支障となった。
10/29	兵庫	地質調査工事	都市ガス	0	他工事業者(地質調査会社)がボーリング孔で灯外内管を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制が実施された。
11/5	京都	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏れ出したため、周辺道路の交通規制が実施された。
11/8	東京	改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷しており、引込み管ガス遮断装置閉止により供給支障が発生していた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)による。
11/12	愛知	舗装工事	都市ガス	0	下水工事後の舗装復旧工事(屋間)にて、水取立管を損傷。オペレータは立管損傷に気付かず舗装工事を終了したが、夜間に消防通報で発覚。現地水取はBOX整備済で、掘削機での舗装撤去中に、損傷させたものと推測される。
11/15	埼玉	下水工事	LPガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管(PEとPLPの接続部)が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/22	埼玉	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、エクステリア業者が、屋外の勝手口付近に手すりを設置するため、土間に10cm程度の穴を開けたところ、敷設されていたビルトインコンロと接続している金属フレキ管よりガスが漏えいした。 原因は、当該作業の際、当該業者が金属フレキ管の存在を認知していなかったため、当該フレキ管を損傷させガスが漏えいしたものの。 なお、消費者も当該配管経路を認知しておらず、販売事業者への連絡はなかったため、販売事業者の立会はなかった。
11/26	広島	解体工事	都市ガス	0	家屋解体工事現場にて解体業者が灯外内管を破損し着火。解体中のコンクリート基礎部を一部焦がした。消防による交通遮断あり。
11/28	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がオーガで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民(8名)の避難が実施された。
11/29	滋賀	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、消防よりガス漏えい発生の連絡を受け、販売事業者が出動したところ、埋設供給管が破損していることを確認した。 原因は、外溝工事業者が容器庫からの埋設供給管の位置を確認せずにコンクリートはつり作業を行ったため、誤って当該供給管を損傷させ、ガスが漏えいしたものの。
12/2	兵庫	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)がカッターで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
12/6	沖縄	水道工事	LPガス	0	他工事業者が水道管を破損して多量の水が噴出。水の逃げ道として溝を作ろうとして近くのガス管まで破損させた。
12/7	兵庫	道路工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がカッターで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
12/8	岡山	解体工事	LPガス	0	共同住宅において、当該建物の家主より「アパート解体中にガスが漏れた」との連絡を受け、販売事業者が調査したところ、供給管が損傷していることを確認した。原因は、当該建物のメーターが閉栓状態で空家だったことから、解体工事業者がガスは供給されていないものと認識し、当該建物を解体したため、重機で供給管を損傷させガスが漏えいしたものの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
12/12	大阪	電気工事	都市ガス	0	他工事業者(電気工事業者)がコアドリルで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
12/12	広島	道路側溝工事	LPG	0	工事業者が道路側溝工事を行っていたところ、コンクリートカッターと思われる工機で誤って供給管を破損させ、ガスが漏えい、着火した。緊急掘削工事に続き、供給管の遮断作業が終了し、消火した。
12/21	東京	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水工事)によると考えられる。
12/21	大阪	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が電動ブレーカーで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
12/24	神奈川	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
12/26	福島	建築工事	LPガス	0	一般住宅及び集合住宅の小規模団地近くの市道において、建設会社従業員が掘り起こしの作業を行ったところ、ガスが漏えいした。原因は、当該従業員が、当該工事に際して、埋設供給管の存在を確認していなかったため、誤ってユンボで埋設供給管に接触したものの。
12/27	熊本	解体工事	都市ガス	0	建物解体業者による整地工事中に、掘削機が敷地内灯外内管に接触し、本管からの供給管取り出し部を損傷。漏えいしたガスがマンホールから下水道に流れ込みをしたことから付近の住民の避難誘導を消防に要請して、約30人の避難を実施。
12/27	埼玉	改修工事	LPガス	0	共同住宅において、リフォーム業者が居室内改装中に、工事で床を剥がした際、配管を損傷させ、ガスが漏えいし引火した。原因は、当該業者が床下の当該配管の存在に気付かず、工事を行う上で支障となることから、ガスの供給が閉止していると思込み、ペビーサンダーで切断したため、ガスが漏えいし、ペビーサンダーの火花が引火したもの。なお、販売事業者によると、1月から工事を行う予定であり、また配管を撤去すると思っていなかったため、当該業者への配管の存在の周知及び当日立会を行っていなかったとのこと。